

## 平成18年度 事業報告及び決算報告書

### 1、法人の概要

#### (1) 設置する学校の学科

愛知さわみ看護短期大学 看護学科

#### (2) 設立の目的等

##### (1) 設立の目的

##### 1、国民の期待にこたえる看護実践者の人材育成

医療現場からの要求と国民の期待は深い専門の知識・技術を持つ看護実践力のある人材を育成する。

##### 2、愛知県における看護師の需要に対応する。

##### 3、地域の保健医療従事者の確保対策の一翼を担う。

#### 建学の精神

本学園の建学の精神は、

第一に地域に密着し、教養・技術の向上はもとより、地域の要請に応え、時期に即した教育を具体的に展開する。

第二に、社会がいかに大きく変わろうとも、建学の精神を一貫して堅持していくことである。すなはち「生命の尊重と人間の尊厳を理念として、幅広い教養と豊かな人間性を持ち、誠実、親切に人々と相互信頼を保ちながら、看護を実践し広く社会に貢献できる看護師を育成する。」ことである。この建学の精神に基づいて、これを教育実践する。

#### 教育理念、目的

建学の精神に基づき幅広い教養と豊かな人間性を持ち、誠実、親切に人々と相互信頼を保ちながら、様々な環境・条件に応じて、看護の専門知識、技術を総合的な判断により創造的に対処・適応させる実践力の育成、臨床能力と調整能力をあわせた看護実践力の確かな育成をすることにより、健康福祉の向上に貢献できる看護師を育成する。

#### 教育方針

#### 教育目標

深い専門の知識・技術を持つ看護実践力のある人材を育成する。

- 1) 人間を総合的に理解し対象の人権、価値観、尊厳を尊重した姿勢を堅持することができる人材を育成する。
- 2) 誠実な心で共感をもって人々に接することができる人材を育成

する。

- 3) 学んだ知識・技術を活用し、対象の成長・自己実現を援助するとともに自身も成長することができる人材を育成する。
- 4) 看護の専門知識・技術を総合的な判断により創造的に対象に適応させた看護の実践ができる人材を育成する。
- 5) 研究に関心を持ち自ら向上させるように主体的に学習を継続する能力を持つ人材を育成する。
- 6) 看護の担うべき役割を展望し、発展させ得る基盤となる能力を持つ人材を育成する。
- 7) 社会の多様な情報を生かし、地域社会の発展に寄与する基盤を持つ人材を育成する。

(3) 当該学校の学科定員,学生数の状況 (平成19年5月1日現在)

学科	1 学年定員数	現員数
看護学科	80 人	255 人

(4) 入試に関する状況

(平成19年5月1日現在)

入試に関する状況												
年度	推薦				一般				総合計			
	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続者数	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続者数	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続者数
平成18年度	38	38	38	38	93	80	78	44	136	123	121	87

- \* 推薦合格者 38名 → 入学者数 38名
- \* 一般合格者 78名 → 入学者数 44名
- \* 総合計合格者 121名 → 入学者数 87名

(5) 役員・教職員の概要

① 役員

理事 理事長 伊藤伸一  
 理事 5名  
 監事 2名

② 評議員 13名

③ 教職員 25名

## 2、本年度の事業の概要

### (1) 当該年度の事業の概要

当該年度の事業計画、食堂横に第2駐輪場および食堂周囲整備が竣工することになり教育施設の計画は完了することになった。

### (2) 当年度に行った主な事業

平成18年度 施設充実計画について

1、愛知きわみ看護短期大学 第2駐輪場および食堂周囲整備

平成18年4月20日

## 3、財務の概要

平成18年度の収支決算

資金収支計算書・消費収支計算書及び貸借対照表の概要は次のとおりです。

### (1) 資金収支計算書

当該年度の学校法人の諸活動に対応するすべての収支の内訳並びに当該会計年度における収支資金の顛末を明らかにすることが、資金収支計算書の目的です。

### (2) 資金収支計算書

収入の部	660,127,515円
支出の部	660,127,515円

### (3) 消費収支計算書

消費収支計算書は、当該会計年度における消費収支の均衡状態と内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示すもので、いわば企業会計の損益計算書にあたるものです。

平成18年度消費収支計算書

帰属収入合計	365,015,870円
基本金組入額	△12,044,730円
消費収入合計	352,971,140円
消費支出合計	401,006,493円
当年度消費支出超過額	48,035,353円
前年度繰越消費収入超過額	373,244,553円
翌年度繰越消費収入超過額	325,209,200円

(4) 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における学校法人の財務状態をあらわした計算書類です。

資産の部

資産合計 1, 9 5 8, 3 2 3, 5 8 0 円

負債の部

負債合計 9 6, 2 3 6, 7 2 8 円

基本金の部

合 計 1, 5 3 6, 8 7 7, 6 5 2 円

消費収支差額の部

翌年度繰越消費収入超過額 3 2 5, 2 0 9, 2 0 0 円

消費収支差額の部合計 3 2 5, 2 0 9, 2 0 0 円

負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計

1, 9 5 8, 3 2 3, 5 8 0 円

【評価項目 2】 財務体質が健全であること

[財務体質の健全と教育研究費について]

(1)平成18年度財務報告書

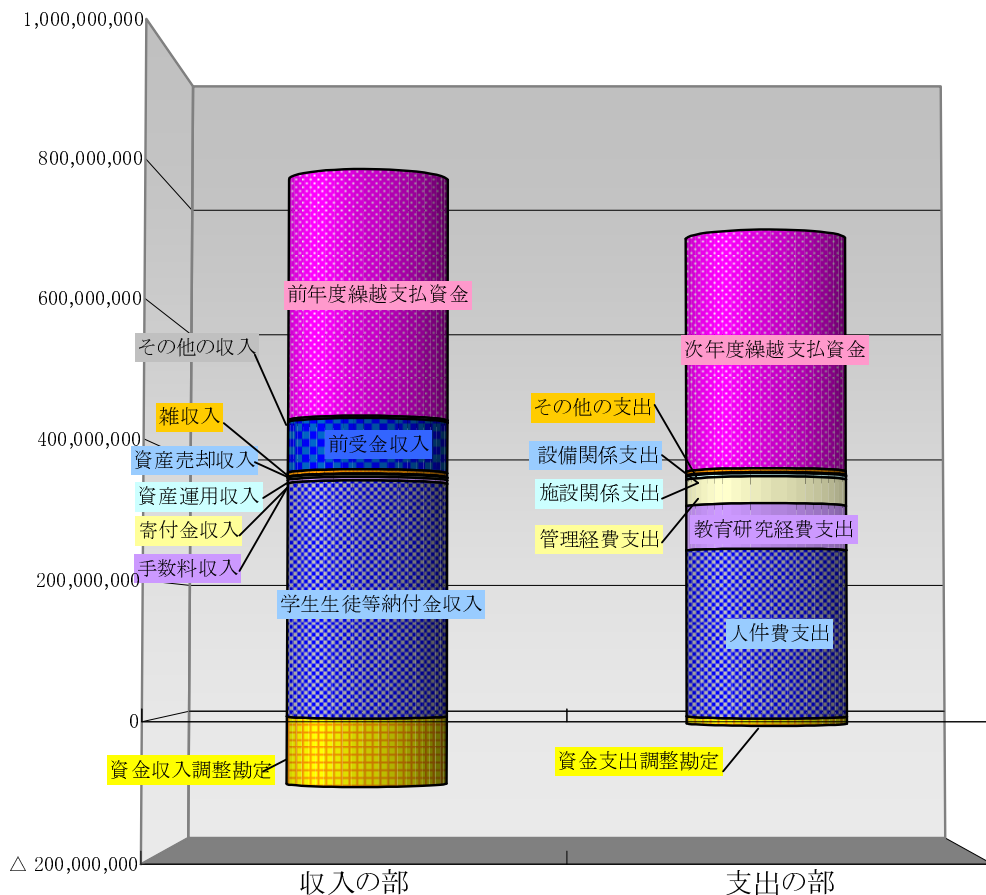
イ、平成18年度 資金収支計算書

## 資金収支計算書

平成18年4月1日から

平成19年3月31日まで

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	348,800,000	人件費支出	248,371,683
手数料収入	5,259,800	教育研究経費支出	67,076,217
寄付金収入	3,500,000	管理経費支出	39,516,756
資産運用収入	955,080	施設関係支出	5,000,000
資産売却収入	15,000	設備関係支出	1,269,010
雑収入	6,500,990	その他の支出	5,813,851
前受金収入	75,950,000		
その他の収入	3,128,493		
資金収入調整勘定	△ 100,242,000	資金支出調整勘定	△ 10,748,128
前年度繰越支払資金	364,911,937	次年度繰越支払資金	352,479,911
収入の部合計	708,779,300	支出の部合計	708,779,300



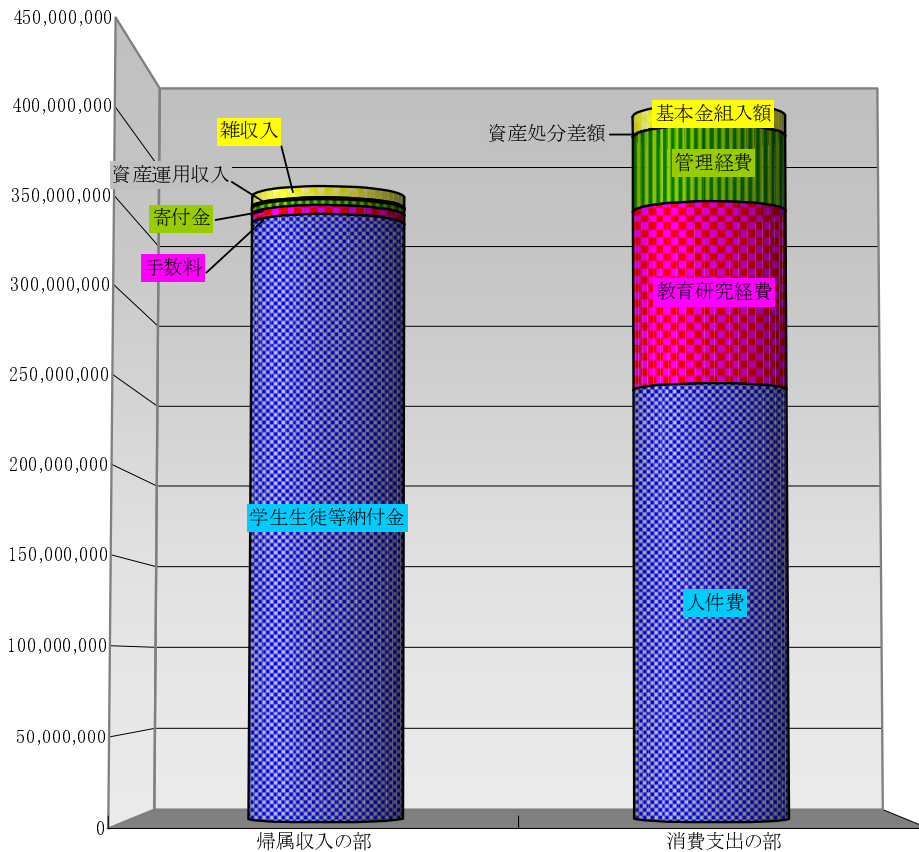
# 消費収支計算書

平成18年4月1日から  
平成19年3月31日まで

消費収入の部	
学生生徒等納付金	348,800,000
手数料	5,259,800
寄付金	3,500,000
資産運用収入	955,080
雑収入	6,500,990
帰属収入 合計	365,015,870
基本金組入額	△ 12,044,730
消費収入の部 合計	352,971,140

消費支出の部	
人件費	250,789,208
教育研究経費	105,452,510
管理経費	44,555,495
資産処分差額	209,280
基本金組入額	12,044,730
消費支出 合計	401,006,493

当年度消費支出超過額	48,035,353
前年度繰越消費収入超過額	373,244,553
翌年度繰越消費収入超過額	325,209,200



ハ、平成18年度 貸借対照表

# 貸借対照表

平成19年3月31日

資産の部	
科目	金額
固定資産	1,636,013,146
流動資産	366,063,154
資産の部 合計	2,002,076,300

負債の部	
科目	金額
固定負債	5,529,260
流動負債	98,469,565
負債の部 合計	103,998,825

基本金の部	
科目	金額
第1号基本金	1,504,832,922
第4号基本金	20,000,000
基本金の部 合計	1,524,832,922

消費収支差額の部	
科目	金額
翌年度繰越消費収入超過額	325,209,200
消費収支差額の部 合計	325,209,200

科目	金額
負債の部、基本金の部 及び 消費収支差額の部 合計	325,209,200

